

学校名	糸満南小学校
授業者	井上 楓

1. 単元計画

<p>第1単元： 「海洋教育ってなあに？」 海洋学習のテーマを確認し、学習の見通しを持つ。 「まちが大好き たんけんたい」 学校の周辺を散策する。 「めざせ生きものはかせ」 講話を聞き、身近な海の危険生物や干潟での生き物観察をする際のルールやマナーについて知る。 潮崎干潟の生き物を観察する。 「言い伝えられているお話を知ろう」 糸満のハーレーやハーレー文化、白銀堂の由来について知る。</p> <p>第2単元： 「めざせ生きものはかせ」 沖縄の海の特徴や漁業について知る。 「わたしたちの海アート」 潮崎干潟で工作の材料になる貝を拾う。 収集した材料を使って作品を作る。 作品作りで工夫したことや、海洋学習を通して感じたことをワークシートにまとめる。</p>

1-2 学年

第2学年

1-3 教科(単元を実地する教科を全てお書きください)

生活、図画工作、国語

1-4 単元の概要

<p>(1)単元の構想 第2学年では、まず小単元「海洋教育ってなあに？」で海洋教育でどんな学習をするのか確認し、次の小単元「まちがだいすき たんけんたい」と「めざせ生きものはかせ」で、糸満の海について講話を聞いたり実際に海岸を散策したりすることで、海や海の生き物についての知識を深める。そして、「言い伝えられているお話を知ろう」で、自分の住んでいる地域の海の行事について知識を深める。後半の小単元では、「わたしたちの海アート」で、実際に海で拾った貝殻を使って作品作りを通して、海に関する興味関心を高めていく。</p> <p>(2)海洋教育の視点 糸満の海のもつ価値や魅力を感じさせるとともに、実際に拾った自然物を活用することを通して、糸満の海で感じたことや考えたことをワークシートにまとめることで、地域の自然と向き逢おうとする態度を育てる。</p>
--

1-5 単元設定の理由・ねらい

<p>身近にある海で浜辺散策をし、生き物や自然物を発見することで海へ興味関心を持ち、その自然物を調べたり、利用してアート作品を作ったりする活動を通して、海の良さを知り、これからの海を大切にしていきたいという意欲を育てる。</p>
--

1-6 育みたい資質や能力、態度

<p>ア.【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の生き物や環境について、散策したり、専門家（糸満水産高校や糸満漁港）の講話を聞いたりすることで、糸満の海の生き物や環境を知ることが出来る。 <p>イ.【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の生き物や環境について、体験活動を通して、学習したことや発見したことを自分の思いを取り入れながら表現することが出来る。 <p>ウ.【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海や海に生きる生物について関心を持ち、海の良さを知り、これからの海を大切にしていきたいという意欲を育てる。
--

1-7 単元の展開(全20時間)

時間	☆単元名 ○学習活動・主な内容	●教師の指導/□主な評価 ◎外部連携/◇使用教材
単元⑦	<p>☆海洋教育ってなあに？</p> <p>○海洋学習のテーマを確認し、学習の見通しを持つ。 (生活①)</p>	<p>●前学年の活動を想起させ、本単元の見通しを持たせる。</p> <p>□これからの学習に興味を持とうとしている。【ウ】</p> <p>◇糸満市海洋教育副読本</p>
	<p>☆まちが大好き たんけんたい</p> <p>○学校の周辺を散策する。 (生活②)</p>	<p>●学校周辺を散策し、海関係のお店がいくつかあることを押さえる。</p> <p>□海や海の仕事が身近な環境であることに気づくことができる。【ア】</p> <p>◇生活科の教科書</p>
	<p>☆めざせ生き物はかせ</p> <p>○講話を聞き、身近な海の危険生物や干潟での生き物観察をする際のルールやマナーについて知る。 (生活①)</p>	<p>●浅瀬の海の危険生物について、名前、体の特徴などを知る。</p> <p>●干潟の生き物を観察する時の服装や持ち物、気を付けたいことを知る。</p> <p>□海の危険生物や干潟の観察方法を知ることができる。</p> <p>【ア】</p> <p>◎糸満漁協</p>
	<p>○潮崎干潟の生き物を観察する。 (生活②)</p>	<p>●干潟の生き物を観察させる。</p> <p>●気づいたことや感じたことをワークシートにまとめさせる。</p> <p>□観察や体験から気づいたことや感じたことを絵と文で表すことができる。【イ】</p> <p>□海や海の生き物に関心や親しみを持とうとしている。</p> <p>【ウ】</p>

	<p>☆言い伝えられているお話を知ろう</p> <p>○糸満のハーレーやハーレー文化、白銀堂の由来について知る。</p> <p>(国語①)</p>	<p>●糸満の伝統文化等について知る。</p> <p>□地域の場所や伝統文化に親しみを持つようとしている。</p> <p>【ウ】</p> <p>◇糸満市海洋教育副読本、インターネット等</p>
単 元 二 ⑬	<p>☆めざせ生き物はかせ</p> <p>○沖縄の海の特徴や漁業について知る。</p> <p>(生活①)</p>	<p>●沖縄の海の特徴やよく捕れる魚について知る。</p> <p>□沖縄の海や魚について興味や親しみを持つようとしている。【ウ】</p> <p>◎沖縄水産高校</p>
	<p>☆わたしたちの海アート</p> <p>○潮崎干潟で工作の材料になる貝を拾う。</p> <p>(生活②)</p>	<p>●潮崎干潟を散策し、浜辺にあるものを観察したり、作品作りに使う貝殻等を拾う。</p> <p>□身近な海の生き物や環境を知ることができる。【ア】</p>
	<p>○作りたい物を考え、計画を立てる。</p> <p>○収集した材料を使って作品を作る。</p> <p>(図工④)</p>	<p>●制作に必要な道具を確認させる。</p> <p>●楽しかった干潟散策を思い出しながら、工夫して作品に表す。</p> <p>□身近な海で体験した中で感じたことを作品に込めて表現することができる。【イ】</p>
	<p>○作品作りで工夫したことや、海洋学習を通して感じたことをワークシートにまとめる。</p> <p>○発表用のスライドを作る。</p> <p>(生活③)</p>	<p>●制作過程で工夫したことや、おすすめポイントを文章にまとめる。</p> <p>●海洋学習で知ったことや体験したことを振り返って文章にまとめる。</p> <p>□海の生き物や環境について、体験的活動を通して、学習したことや発見したことを自分の思いを取り入れながら表現することができる。【イ】</p>
	<p>○発表練習をする。</p> <p>○発表する。</p> <p>(生活③)</p>	<p>●国語科の既習事項を想起させながら、相手に伝わるよう発表の仕方を工夫させる。</p> <p>●海洋学習で知ったことや体験したことを発表する。</p> <p>□海の生き物や環境について、体験的活動を通して、学習したことや発見したことを自分の思いを取り入れながら表現することができる。【イ】</p>

2・ 学習活動の実際

(1) 単元における位置づけ

単元1 20時間中の5～6時間目

(2) 本時の目標

①指導目標

干潟の海を観察し、海や海の生き物に親しみを持つことができる。

②本時のねらい

- ・ 以前講話で聞いた海でのルールやマナーを守り、危険生物に気を付け安全に観察をする。
- ・ 干潟の海の観察を通して、いろいろな生き物がいることに気づき、身近な自然への興味関心を育む。

(3) 本時の展開

主な学習活動／反応	●教師の指導・支援 □評価の視点（方法）
1. 学習のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ●糸満漁協の方の講話を振り返り、海で生き物を観察する際のルールやマナー、危険生物について想起させる。 ●本時のめあてを確認する。
2. 潮崎干潟で生き物を観察する。	<ul style="list-style-type: none"> ●安全な行動範囲を確認する。 ●砂浜の穴が空いているところや岩陰など生き物がいそうなところを観察するよう声かける。 ●触る時は優しく触る事や、元の場所に戻すことを伝える。 ●触った感触や、色、動き方、大きさなど視点を持って観察させる。 <p>□海や海の生き物に関心や親しみを持つようとしている。【ウ】（観察）</p>
3. 帰校後、干潟観察で気づいたことや感じたことを絵や文で表す。	<ul style="list-style-type: none"> ●上記の視点を提示し、見つけた生き物について児童が具体的に記入できるようにする。 ●生き物に対して興味を示してなかった児童に対しては「周りの様子はどうだったか」「〇〇さんはどんな生き物を見つけていたか」等、声をかけ、文が書けるよう支援する。 <p>□観察や体験から気づいたことや感じたことを絵と文で表すことができる。</p> <p>【イ】（観察・ワークシート）</p>
4. 気づいたことや感じたことを交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ●友達と自分との違いや同じところを探すように伝える。 ●感想や質問もできると良いことを伝える。
5. これからの学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ●次は干潟で貝殻を拾うことや貝殻を使った図工作品を作ることを伝え、今後の学習に対する児童の意欲や興味関心を高める。

3. 今回の活動の自己評価

- ・ 豊かな自然に触れることで、海や海の生き物に興味関心を持ち、児童が自分たちの町の良さに気づけた。
- ・ 海の美しさをどのようにしたら表現できるか考え、工夫して表現することができた。
- ・ ICTを活用して作品を発表することができた。発表の良かったところを友達に認められたり、保護者にも聞いてもらい褒められたりすることで児童も喜んでいった。

4. 今後の課題

- ・海や海の生き物にもっと興味関心を持たせたり、その興味関心を継続させる取り組みが必要だと感じた。
- ・児童の自己肯定感が育成されたかどうか測れなかった。
- ・児童の主体性を生かすなら、表現方法にもっと幅があってもよかった。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真，画像，表等の使用可、必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝，10.5ポイント／マージン：上下端20mm 左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書 学校名」とし、複数提供する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書 海洋私立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけがわかる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。